

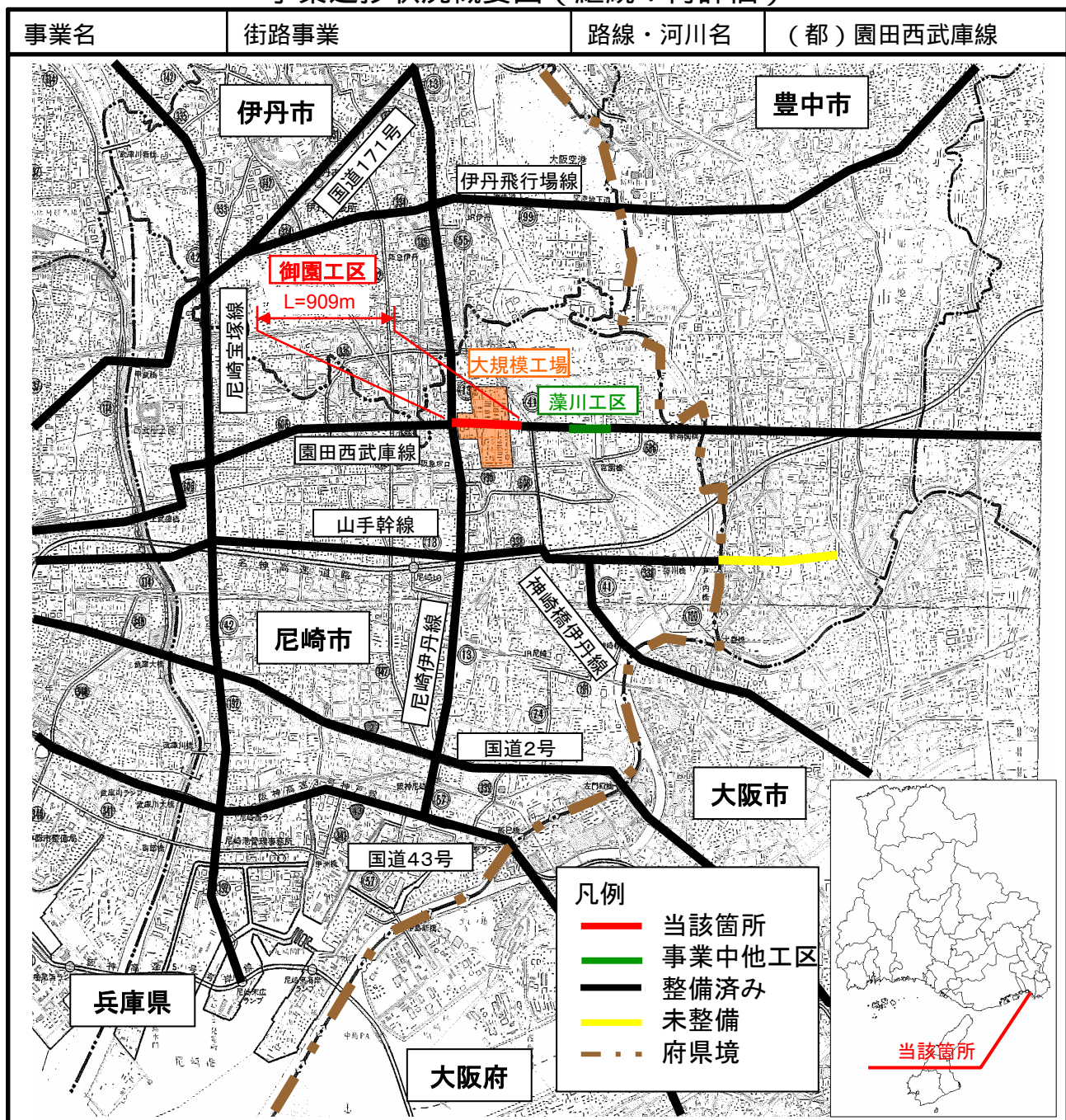
繼續事業評価調書  
【街路事業】

土木局 道路街路課

投資事業評価調書（継続：再評価〔第2回〕）

部課室名	県土整備部土木局 道路街路課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	街路担当参事 高瀬 陽太郎 (課長補佐兼街路係長 鎗水 正和)		内線	4474 (4480)
事業種目	街路		新規評価年度	-	現計画	前回評価時点
事業名	都市計画道路事業 園田西武庫線(御園工区)		事業採択年度	H9	総事業費	174億円
			着工年度	H9	内地地補償費	104億円
事業区間	尼崎市御園1丁目～塚口本町6丁目		再評価年度	H18	完成予定年度	H25
所在地	尼崎市御園1丁目～塚口本町6丁目		進捗率	11%	5%	
			(内用補進捗率)	(10%)	(2%)	
		残事業費	155億円	165億円		
事業の目的				事業内容		
<p>本路線は、国道2号、国道43号等の東西主要幹線道路を補完し、大阪府と接続する尼崎市北部における東西幹線道路である。</p> <p>尼崎北部では、大阪府と連絡する東西道路ネットワークが脆弱なため、周辺道路では慢性的な交通渋滞が発生している。</p> <p>このため、本路線で整備が残っている本工区及び藻川工区を供用し全線開通することにより、都市内交通の円滑化と都市機能の充実を図る。</p>				<p>道路改築 L=909m( " )</p> <p>JR福知山線とは、立体交差</p> <p>【現況幅員】なし</p> <p>【計画幅員】W=6.0(18.0)m( " ) (2車線+両側自歩道)</p> <p>【計画交通】8,800台/日(11,200台/日)</p> <p>【負担割合 国:5.5/10,県:2.25/10,市:2.25/10】</p>		
事業を取り巻く 社会経済情勢等 の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成22年度より、本工区東側の藻川工区に着手した。</li> </ul> <p>【前回評価時点からの事業計画の変更概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>用地補償契約に日時を要したことから、5年延伸し、事業完了を平成30年度とする。</li> </ul>					
進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成23年3月に、本工区で最も規模が大きい工場との用地補償契約が締結できた(県土地開発公社による先行取得)。その結果、用地補償の契約率は95%となった(関連移転となるため、平成28年度頃移転完了予定)。</li> <li>残る用地買収地についても鋭意交渉を進め、平成25年度にJR立体交差(アンダー)工事に着手し、平成30年度に完了する。</li> </ul>					
評価視点	評価結果の説明					
審査会意見 及び 対応方針 (H18年度再評価)	【審査会意見】 用地取得を推進するとともに、早期の事業完了を図られたい。			【対応方針】 用地取得を推進し、早期の事業完了を図る。		
(1)必要性 安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> <li>本路線の北側に並行する<sup>いなでらしどう</sup>猪名寺椎堂線のJR前畑踏切(「踏切すっきりプラン」対象箇所)など、周辺道路では、慢性的な渋滞が見られる。本路線の整備、JRとの立体交差化により、交通渋滞を緩和し交通の円滑化及び交通の安全を図る。</li> </ul>					
地域の活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>また災害時には、阪神高速や大阪内環状線とのネットワークの強化による緊急物資等の円滑な輸送、避難場所(園田小・中)へのアクセス性を高めるなど都市防災機能の向上を図る。</li> </ul>					
快適性、ゆとり	<ul style="list-style-type: none"> <li>JR福知山線及びその沿道に集中する工場群により、東西に分断された市街地の地域間交流、活性化を図る。また周辺駅(JR猪名寺駅、塚口駅、阪急塚口駅)周辺公共施設等へのアクセス性を向上させる。</li> <li>植樹や歩道のインターロッキング舗装により、快適でゆとりのある空間を形成する。</li> </ul>					
(2)有効性・効率性 執行環境状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>費用便益比B/C=3.3(全体)(前回B/C=5.3)、B/C=3.6(残事業)</li> <li>事業完了後の現道(県道西宮豊中線)の管理引継については、尼崎市の合意を得ている。</li> </ul>					
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> <li>車道は低騒音舗装、歩道は透水性舗装を行い、沿道環境に配慮することとしている。</li> <li>市街地内の通過交通をバイパスへ転換することで、走行速度を上げ、交通を分散できることから、大気に与える影響を軽減できる。</li> </ul>					
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> <li>地元より早期整備の要望書が提出されている。</li> <li>本路線で整備が残っている本工区と藻川工区を供用することにより、大阪府と連絡する東西ネットワークが形成されることから、早期に供用を図る必要がある。</li> </ul>					
再評価 の結果	継続	左の理由	事業の必要性は、事業採択時と変わっておらず、用地補償の契約率は9割を超え、地域住民からも早期完成を望む声強いことから、継続して事業を実施する必要がある。			

### 事業進捗状況概要図（継続：再評価）

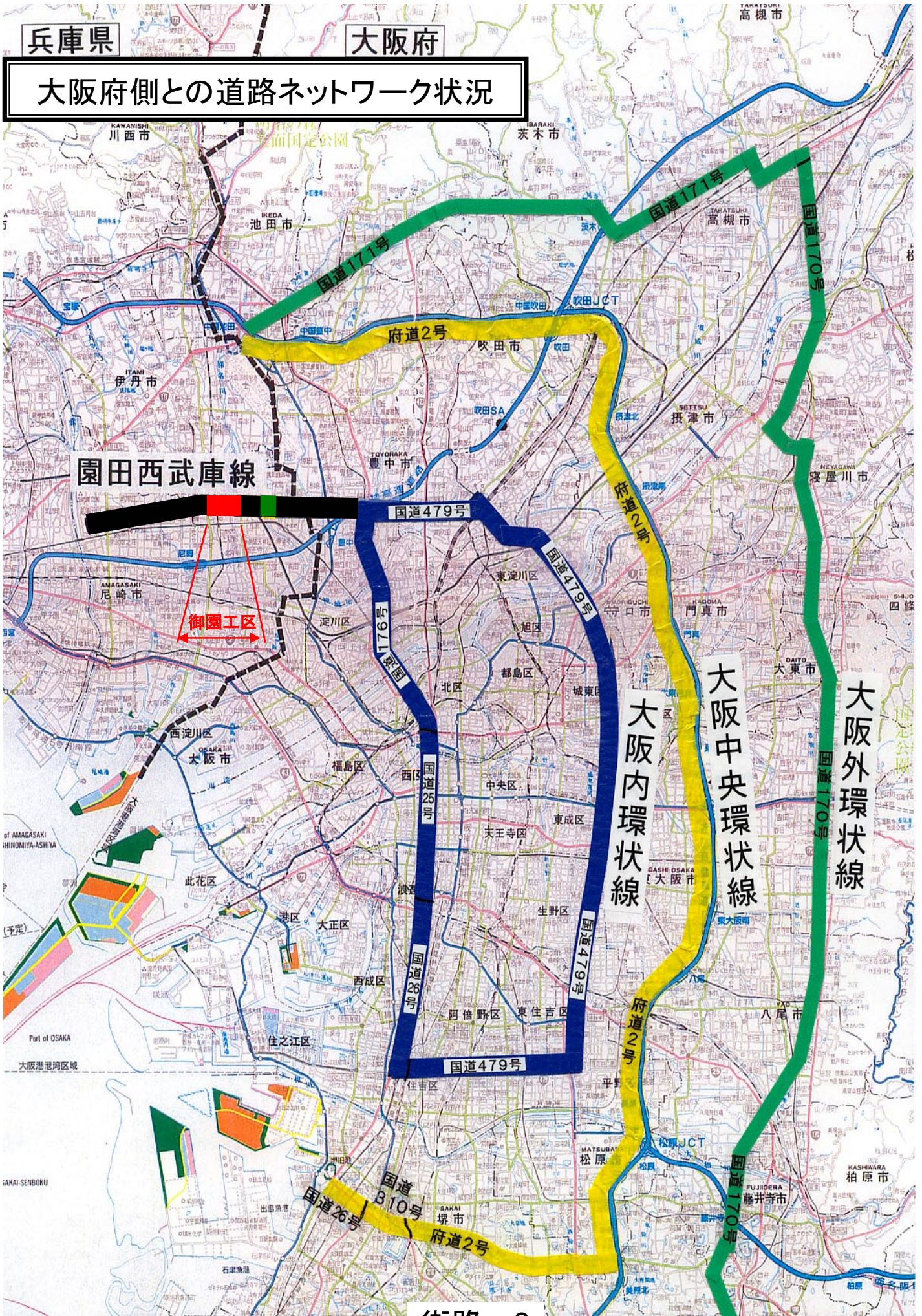


	事業進捗状況・予定	整備効果
全体	<b>H9～30年度【事業費＝174億円】</b> 延長：909m 物件補償：9件、用地：9件 18,199㎡	
前回再評価 まで（実績）	<b>H9～18年度予定【事業費＝9億円】</b> ・用地補償9件中3件契約（2%契約済み）	-
過去 5年間	<b>H19～23年度【事業費＝10億円】</b> ・大規模工場を含む2件契約完了(95%契約済み)	-
今後 7年間 （予定）	<b>H24～30年度【事業費＝155億円】</b> ・概ね平成24年度までに、残る用地補償の契約を完了させ、平成25年度からJR立体交差部の工事に着手する。 ・平成30年度に全区間完成予定。	「踏切すっきりプラン」に位置づけられた、猪名寺椎堂線のボトルネック踏切前畑踏切など周辺道路の渋滞が緩和される。 また、JRの東西における地域間交流が促進される。

兵庫県

大阪府

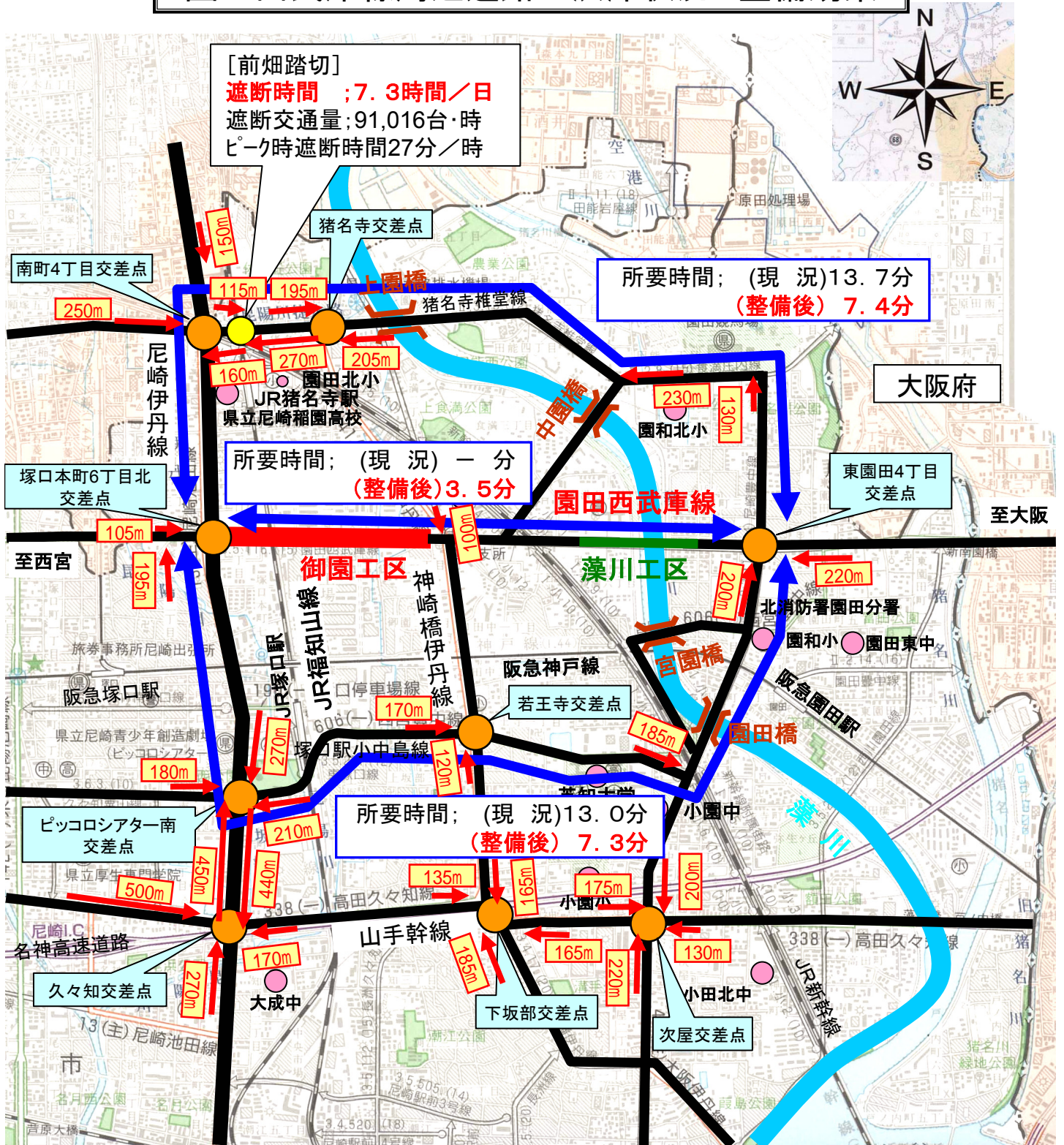
# 大阪府側との道路ネットワーク状況



# 園田西武庫線(御園工区) 平面図



## 園田西武庫線周辺道路の渋滞状況と整備効果



渋滞長: H18.9観測